

黒松小学校 学校支援地域本部



黒松もりあげ隊便り



保護者や地域の皆様の力を生かして、子供たちの学校生活や学習を支援する学校の応援団『黒松もりあげ隊』は、「子供たちの豊かな経験、学びの場」として夏休み中に学習、制作分野で夏の講座を実施しました。その時の様子を含め、7～8月のもりあげ隊の活動の一部をご紹介します。

※ボランティアは、毎日の検温・体調確認、手洗い・消毒、マスク着用などの感染防止対策を行った上で参加しています。

◇3年生「七夕かざり作り」サポート（7/14・15・20）

3年生の「七夕かざり作り」の授業に各日6名のボランティアの方が参加し、仙台七夕の七夕かざりを作るサポートをしました。子供たちは先生の説明をしっかりと聞いて作りはじめ、難しい所や糸付けなどをボランティアさんにサポートしてもらいながら、吹き流し、紙衣、投網、屑籠、折り鶴を次々に完成させていきました。最後は短冊に願い事を書いて、自分で作ったかざりともりあげ隊作成の巾着を笹に飾りつけて、嬉しそうに見せ合ったり先生に写真を撮ってもらったりしていました。一生懸命作った七夕かざりに込められた願いはきっと叶うことでしょう。



◇夏の講座 宿題お助け隊①②（7/26, 8/20）

①は19名、②は13名の子供たちが、夏休みの宿題や自主学習用教材を持参して、分からないところをお助け隊に質問しながら学習しました。違う学年の子供たちと一緒に学習する場にはほどよい緊張感が生まれ、皆集中して取り組んでいました。クロスワードや謎解き要素のあるプリントで息抜きをしたり、教員志望の大学生に教えてもらって「わかった!」と笑顔になったり、集中しながらも楽しく学習できたようです。



◇夏の講座 オリジナルバスボム作り（7/27）

37名の子供たちが参加し、重曹・クエン酸等を使って自分だけのオリジナルバスボム（入浴剤）を作りました。子供たちはボランティアさんの説明をよく聞いて材料を混ぜ合わせ、赤・黄・青・緑の4色を組み合わせながら型にしっかりと詰めていき、丸、四角、ハート、花など様々な形の色とりどりのバスボムが出来上がりました。夏休み明けに会った参加者が「シュワシュワ泡が出てきて楽しかった」「お肌ツルツルになった」など、バスボムを使った感想を聞かせてくれました。



黒松もりあげ隊では、今後も新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しながら、学校・家庭・地域が手を携えて、我が子、我が地域の黒松小学校をもりあげていけるよう活動していきます。皆さんもご協力よろしくお願いします!